

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 7 月 26 日

評価対象事業		評価者	農水課担当課長 太田 朋彦	
都整-27	農道整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	農水課
重点事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	産業振興	施策の方針	農業・漁業の振興

1 事業の目的

対象	農業従事者等
意図	農業生産基盤を整備し、生産性の向上、農業経営の安定化を図るため。
効果	生産性の向上、農業経営の安定化

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

・鎌倉農業振興地域整備計画に基づき、農道整備工事及び管理図面の作成を行った。
--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	農道整備事業	農道工事の実施及び管理図面の作成	受益面積 (ha)	3.0 / 4.3	1.9	69.77%	
02				/			
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源 内訳	国県支出金	13,895 / 45,570	0		
			地方債	5,300 / 33,600	0		
			その他特定財源	/			
			一般財源	1,098 / 4,483	1,265		
			事業費の合計(千円)	20,293 / 83,653	1,265		
		人件費(千円)		8,346	7,686		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.1	1.1	1.0			
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	農道整備事業	当初整備を予定していた路線の地権者との手続きに時間を要し、必要な工期が十分確保できなかったため、整備する路線を変更したことから、結果として指標達成には至らなかった。	農業生産基盤を整備することは、生産性の向上、農業経営の安定化につながることから、実施事業としては妥当である。	工事期間が農閑期で完了しないため、隣接する農家との調整が必要となる。
02				
03				
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない
協働	協働実施済の場合のパートナー	

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>鎌倉農業振興地域整備計画に基づいて選定した農道6路線(①～⑥)のうち、令和3年度は、路線⑤及び路線⑥の農道整備工事を実施した。令和4年度は、路線①の半分及び路線③及び路線④の農道整備工事とともに、令和3年度に整備を実施した農道の管理図面を作成する。本事業は、実施計画の重点事業であり、令和4年度をもって整備完了を予定していることから、工程に沿った着実な事業の推進を図っていく。</p>					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	受益面積						単位	ha
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
農作業における環境改善を図れているか判断するため	目標値	2.6	4.3	1.9				
	実績値	2.6	3.0					
	達成率	100.0%	69.8%					

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	遊休農地の面積及び管内農地面積における遊休農地の割合(令和3年度末データ)						
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	寒川町		
他市実績	6.2ha	15.0ha	13.8ha	19.8ha	3.0ha		
	6.3%	1.7%	3.2%	1.4%	1.4%		

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	農地面積は市町村で大きな差があるため、管内農地面積における遊休農地の割合を比較する。
----------------------	--